

見守り情報管理システム インストールマニュアル

Ver1.2
2015/3/27

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

目次

1	はじめに.....	2
1.1	システムを利用するために.....	2
1.2	インストール画面へのアクセス.....	2
1.3	必要情報の入力.....	3
1.4	入力内容の確認.....	4
1.5	スクリプトの作成完了.....	5

1 はじめに

1.1 システムを利用するために

本システムを利用するためには、以下の準備が必要です。

- e コミマップのインストール
- マップの登録
- e コミグループウェアのマップ連携パーツの配置

e コミマップのインストール、e コミグループウェアへのマップ連携パーツの配置に関しては、それぞれe コミマップ、e コミグループウェアのマニュアルを参照して下さい。

1.2 インストール画面へのアクセス

以下の URL にアクセスし、見守り情報管理システムのインストール画面にアクセスします。

見守り情報管理システム インストール

見守り情報管理システムデータの入力

見守り情報管理システムデータを入力し「入力内容確認」ボタンを押してください。

インストール前に必要な作業

- e コミマップのインストール
- マップの登録
- e コミグループウェアのマップ連携パーツの配置

データベース情報

データベースサーバ	<input type="text" value="localhost"/> <small>データベースを所蔵したサーバのホスト名またはIPアドレスを入力 別サーバを利用しなければ "localhost"</small>
データベースポート	<input type="text" value="5432"/> <small>データベースにODBC接続するためのポート 通常は "5432"</small>
データベース名	<input type="text" value="ecommap"/> <small>e コミマップ用に生成したデータベースの名称</small>
データベースユーザ名	<input type="text" value="postgres"/> <small>データベース接続用のユーザID DB作成権限を持つPostgreSQLのユーザID</small>
データベースユーザのパスワード	<input type="password"/> <small>PostgreSQLユーザのDB接続用パスワード</small>

見守り情報管理システムの設定

見守り情報管理システムにe コミマップの情報を設定します。

地域固有 I D (system_id)	<input type="text" value="tiki"/> <small>地域・エリアを識別する固有 I D</small>
Community I D	<input type="text" value="1"/> <small>e コミマップのサイト I D</small>
相談記録宛先用 メールアドレス	<input type="text"/> <small>相談対応の通知を受信するメールアドレス</small>

1.3 必要情報の入力

必要情報を入力し、「入力内容確認」をクリックします。

データベース情報

データベースサーバ	<input type="text" value="localhost"/>	データベースを作成したサーバのホスト名またはIPアドレスを入力 別サーバを利用しなければ "localhost"
データベースポート	<input type="text" value="5432"/>	データベースにODBC接続するためのポート 通常は "5432"
データベース名	<input type="text" value="ecommap"/>	エコミマップ用に生成したデータベースの名称
データベースユーザ名	<input type="text" value="postgres"/>	データベース接続用のユーザID DB作成権限を持つPostgreSQLのユーザID
データベースユーザの パスワード	<input type="password"/>	PostgreSQLユーザのDB接続用パスワード

見守り情報管理システムの設定

見守り情報管理システムにエコミマップの情報を設定します。

地域固有 I D (system_id)	<input type="text" value="tiiki"/>	地域・エリアを識別する固有 I D
Community I D	<input type="text" value="1"/>	エコミマップのサイト I D
相談記録管理用 メールアドレス	<input type="text"/>	相談対応の通知を受信するメールアドレス

1.4 入力内容の確認

入力した内容が表示されるので、間違いがないか確認して下さい。間違いなければ、「スクリプト作成」ボタンをクリックし、インストール用スクリプトを作成して下さい。

見守り情報管理システム インストール

入力された情報のチェックが完了しました

内容を確認して「スクリプト作成」ボタンを押してください。
見守り情報管理システムのインストールスクリプトを作成します。

データベース情報

データベースサーバ	<input type="text" value="localhost"/> <small>データベースを作成したサーバのホスト名またはIPアドレスを入力 別サーバを利用しなければ "localhost"</small>
データベースポート	<input type="text" value="5432"/> <small>データベースにODBC接続するためのポート 通常は "5432"</small>
データベース名	<input type="text" value="ecommap"/> <small>eコママップ用に生成したデータベースの名称</small>
データベースユーザ名	<input type="text" value="postgres"/> <small>データベース接続用のユーザID DB作成権限を持つPostgreSQLのユーザID</small>
データベースユーザの パスワード	<input type="password" value="*****"/> <small>PostgreSQLユーザのDB接続用パスワード</small>

見守り情報管理システムの設定

見守り情報管理システムにeコママップの情報を設定します。

地域固有 I D (system_id)	<input type="text" value="tiiki"/> <small>地域・エリアを識別する固有 I D</small>
Community I D	<input type="text" value="1"/> <small>eコママップのサイト I D</small>
相談記録管理用 メールアドレス	なし <small>相談対応の通知を受信するメールアドレス</small>

1.5 スクリプトの作成完了

インストール用スクリプトの作成が完了すると、以下の画面が表示されます。画面上の表示にしたがって、スクリプトを実行して下さい。

見守り情報管理システム インストール

インストールの準備が完了しました

コンソール上で以下のインストールスクリプトを実行してください。

実行後、見守り情報管理システムを起動してください。

```
#見守り情報管理システム インストールスクリプトの実行
cd /home/kasetsu-test/webapps/map
chmod 700 support/startup.sh
chmod 700 support_install/startup.sh
cd support
./start.sh
```

#eコミグループウェアから見守り情報管理システムを起動してください

※ スクリプトの実行権限がない場合は、サーバの管理者に確認して下さい。